

輪ゴム動力車大会 競技規定

2024/05/15 刈谷少年少女発明クラブ

市販の輪ゴム (No. 16・直径約 3.8cm) を 3 本のみ
使い、車輪を回して距離を競う。

- ・中学生は車体の材料は自由に選んでよい。
- ・小学生は当日配付された材料を使用する。

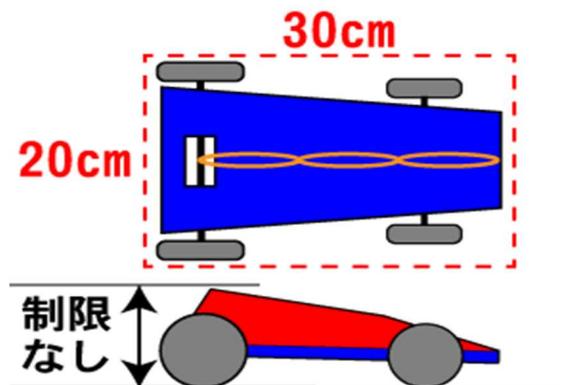


1 動力

- ・市販の輪ゴム (No. 16・直径約 3.8cm) を 3 本のみ使い、車輪を回して進む。
- ・輪ゴムは、当日会場で支給されたものを使用すること。
- ・ゴム以外の補助動力は認めない。
- ・ゴムを巻く回数は、ゴムが切れなければ何回でもよい。
- ・動力の輪ゴムは、3 本以下でも可。
- ・プロペラなどのゴム以外の動力を使用してはいけない。
- ・輪ゴムを使用しても、カタパルト式に勢いをつけるような動力にしてはいけない。
- ・動力用の輪ゴムとは別に、ゴムを車輪の滑り止めとして使用してもよい。(大きさや本数の制限なし)

2 車体

- ・タイヤも含んだ車体の大きさは、幅 20cm、長さ 30cm 以内。
- ・中学生は車体の材料は自由に選んでよい。
- ・小学生は当日配付された材料を使用する。
- ・高さの制限はない。
- ・塗装やウィングなどの装飾は、サイズ以内なら可能である。
- ・車体には必ずゼッケン番号と自分の名前を記入する。
- ・中学生は車体の検査を受け、合格印をもらう。

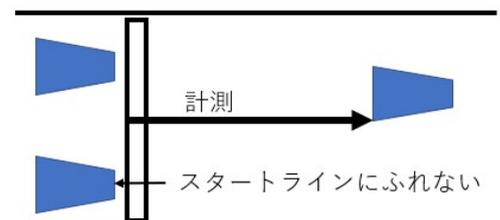


3 車輪

- ・四輪車であること。 ・タイヤの材料や大きさに制限はない。
- ・4つの車輪全てが常に地面に接地していること。 ・4つの車輪は、互いに触れないようにしておく。

4 走行距離競技の測定方法

- ・スタート位置はテープの手前側で、車体の先端がスタートラインにふれないようにする。
- ・走行距離は、スタートラインに直角方向の距離とする。(曲がった場合はロスとなる)
- ・静止地点は、会場のコート幅範囲内とする。(コート外で静止した場合は失格)
- ・2回のチャレンジを行い、上位の記録で競う。
- ・走行距離が 20 m 以上の車が 2 台以上の場合には該当する車で再スタートする。(単三乾電池 1 個を付けて再スタート)
- ・隣の車と接触しても再スタートはしない。



5 デザイン選考基準

- ・ 中学の部を対象に、美しさや独創性、実現性の高さについて 50 点満点に審査する。

6 表彰について

- ・ 走行距離の部

小学生は学年別、中学生は中学の部として それぞれ上位者を表彰する。

- ・ デザインの部

中学の部で若干表彰する。

7 その他

- ・ 中学生の理科部・科学部の参加者は、事前に製作してくる。
- ・ 中学生の参加は一校 10 名程度とする。(三密防止のため)

8 会場図

輪ゴム動力車大会 会場配置図 (亀城小体育館フロアー 幅 24m 長さ 27m)

※各場所に表示

